



# 病後児保育だより

聖隷こども園わかば

2023年9月号

まだまだ暑い日が続きますが、吹く風に秋の訪れを感じるようになってきました。少しずつ戸外遊びがしやすくなってきますが、まだ日差しが強い時があります。熱中症に気をつけながら元気に遊んでいきたいですね。また、季節の変わり目には体調を崩しやすくなりますので、注意して過ごしていきましょう。

## 病後児保育室、こんな質問がありました



**Q 手足口病で普通の食事が摂れないが、利用できますか。**

A 医師連絡票で「回復期」であれば利用できますが、口の中に水疱が出来てしまって水分摂取もできないような場合は病後児保育の利用は難しいので、受診をお勧めします。水分摂取に問題がなければ食事の摂取状況を教えてもらい、軟らかい食事などを提供しています。

**Q 下痢で利用が長引いています。一度普通保育に戻って便の具合によってはまた病後児保育を利用したいが、可能ですか？**

A できません。一度普通保育に戻ると「回復した」とみなしますので、また病後児保育を利用したい場合は改めて医師の連絡表が必要になります。おうちの方のお休みが取れてご家庭で様子を見る場合はこの限りではありません。



## 子どもの誤飲・誤嚥事故を防ぎましょう

小さな子どもは、手にしたものを何でも口の中に入れてしまいます。家庭内で起きる子どもの事故で最も多いのが誤飲・誤嚥事故です。危険な物は子どもの手の届かない所に置き、大人が常に注意して保管しましょう。

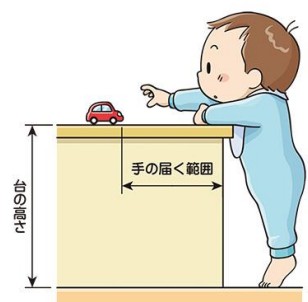
子どもは静かに窒息します。物がのどに詰まった時点で、息ができないので声が出せません。食事中のお子さんには注意を向けておきましょう。

①豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせない。

②ミニトマトやブドウなどの球状の食品を丸ごと食べさせると、窒息するリスクがあります。乳幼児には4等分する、調理して軟らかくするなどして、よく噛んで食べさせましょう。

③食べている時は姿勢を良くし、食べることに集中させましょう。物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたりすると、誤って吸引し窒息・誤嚥するリスクが高まると言われています。

④節分の豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫し、子どもが拾って口に入れないように後片付けを徹底しましょう。



子供の手の届く範囲は「台の高さ+手の届く範囲」

1歳児：約90cm  
2歳児：約110cm  
3歳児：約120cm